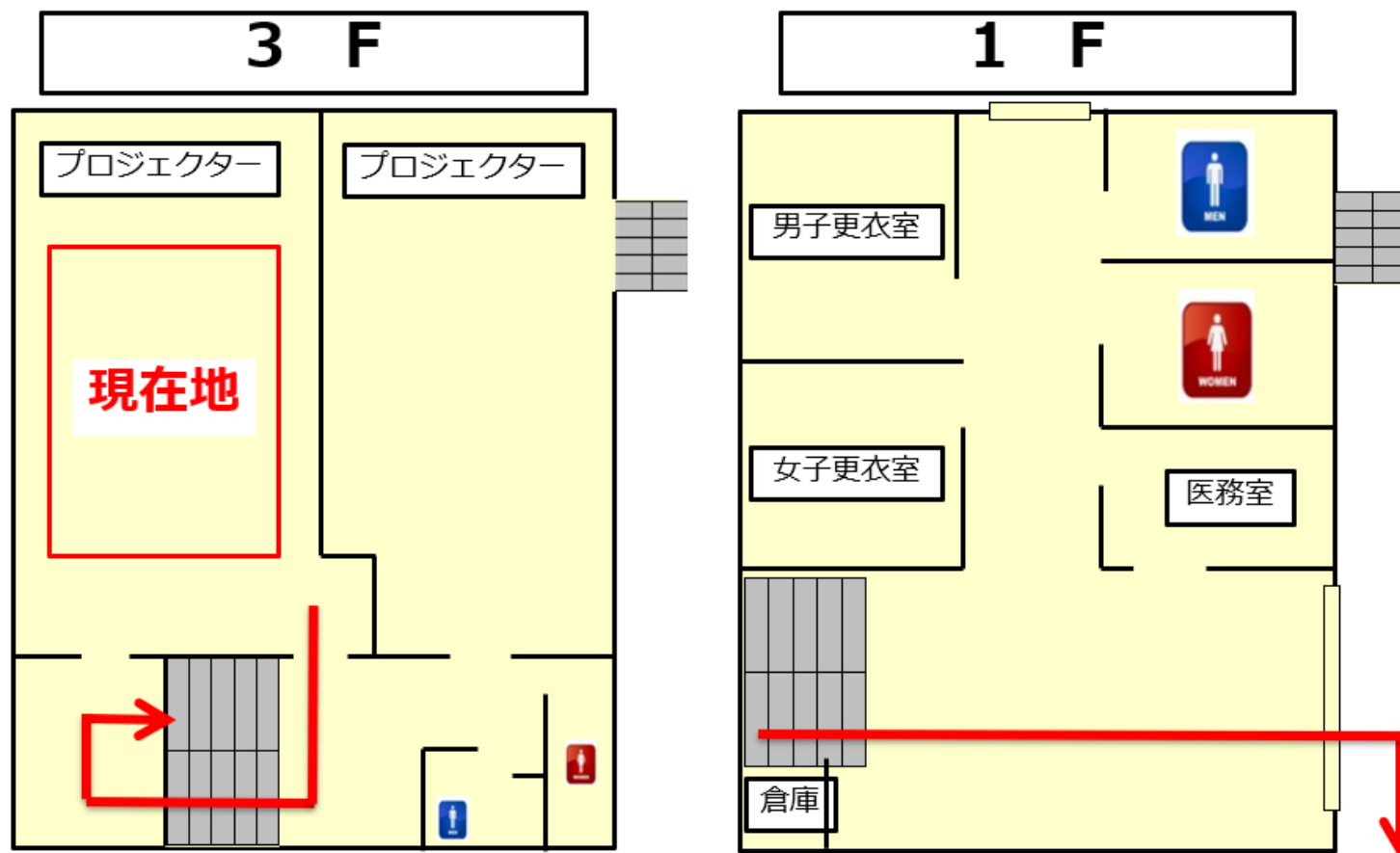


避難経路のご案内

M's terraceを出て、右側駐車場へ



Metalart Group



株式会社メタルアート

- ・ 第94期 定時株主総会
- ・ 2025年6月26日

証券コード: 5644



目次 第94期 定時株主総会



会議の目的事項	4
監査報告	6
事業報告	7
2025年度業績予想について	11
2030年ビジョン	14
～6年目の取り組みについて～	
企業価値向上にむけた課題と取り組み.....	33
第94期（2025年3月期）連結計算書類	40
議案の説明	43
質疑応答	50
議案決議	51

会議の目的事項

01

会議の目的事項

報告事項

1. 第94期 事業報告、連結計算書、会計監査人
及び監査役会の連結計算書類の監査結果報告の件
2. 第94期 計算書類の内容報告の件

決議事項

- 第1号議案 取締役5名選任の件
- 第2号議案 監査役1名選任の件
- 第3号議案 補欠監査役1名選任の件
- 第4号議案 退任取締役に対し退職慰労金贈呈並びに役員退職慰労金
制度廃止に伴う打ち切り支給の件
- 第5号議案 取締役（社外取締役を除く）に対する譲渡制限付株式の
付与のための報酬決定の件

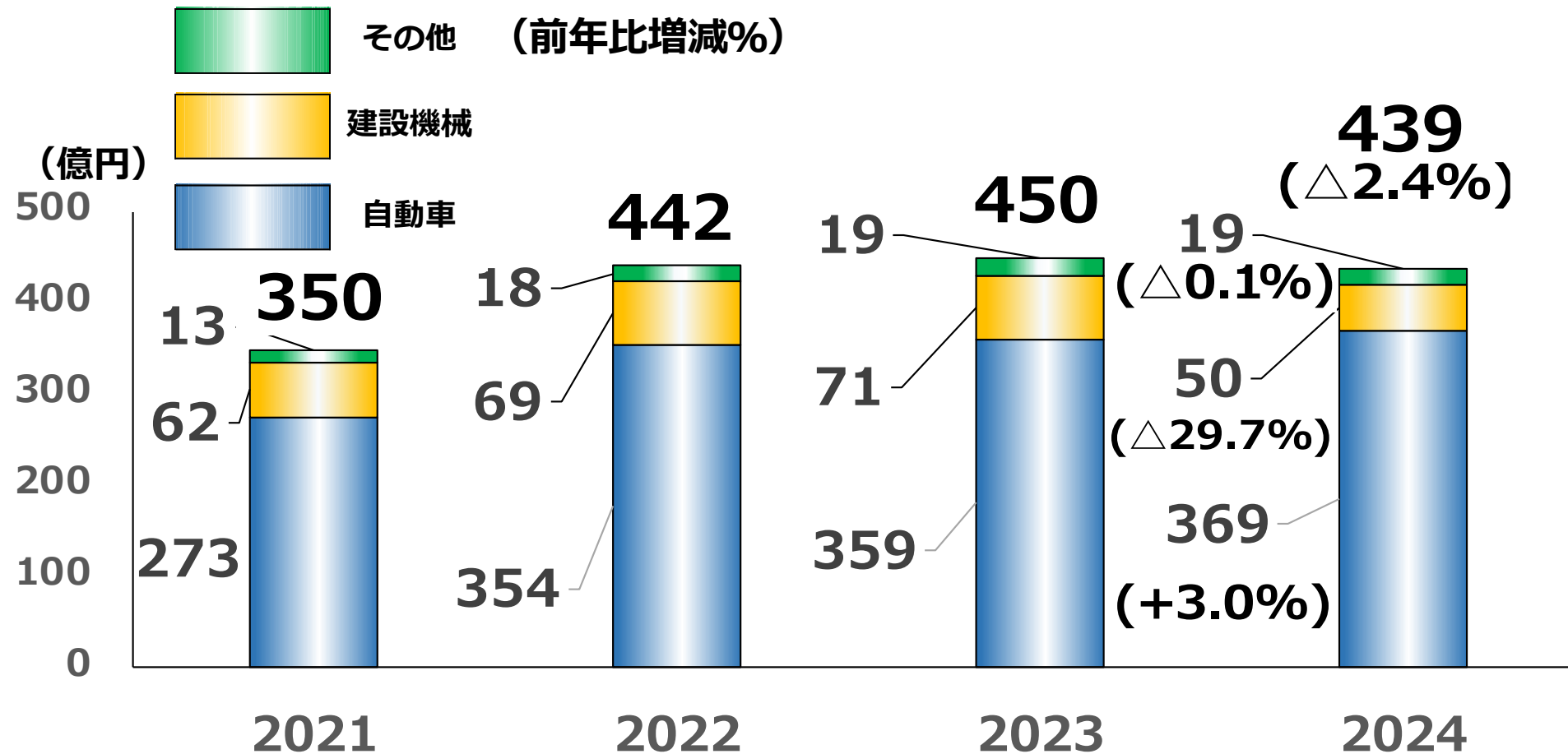
監查報告

02

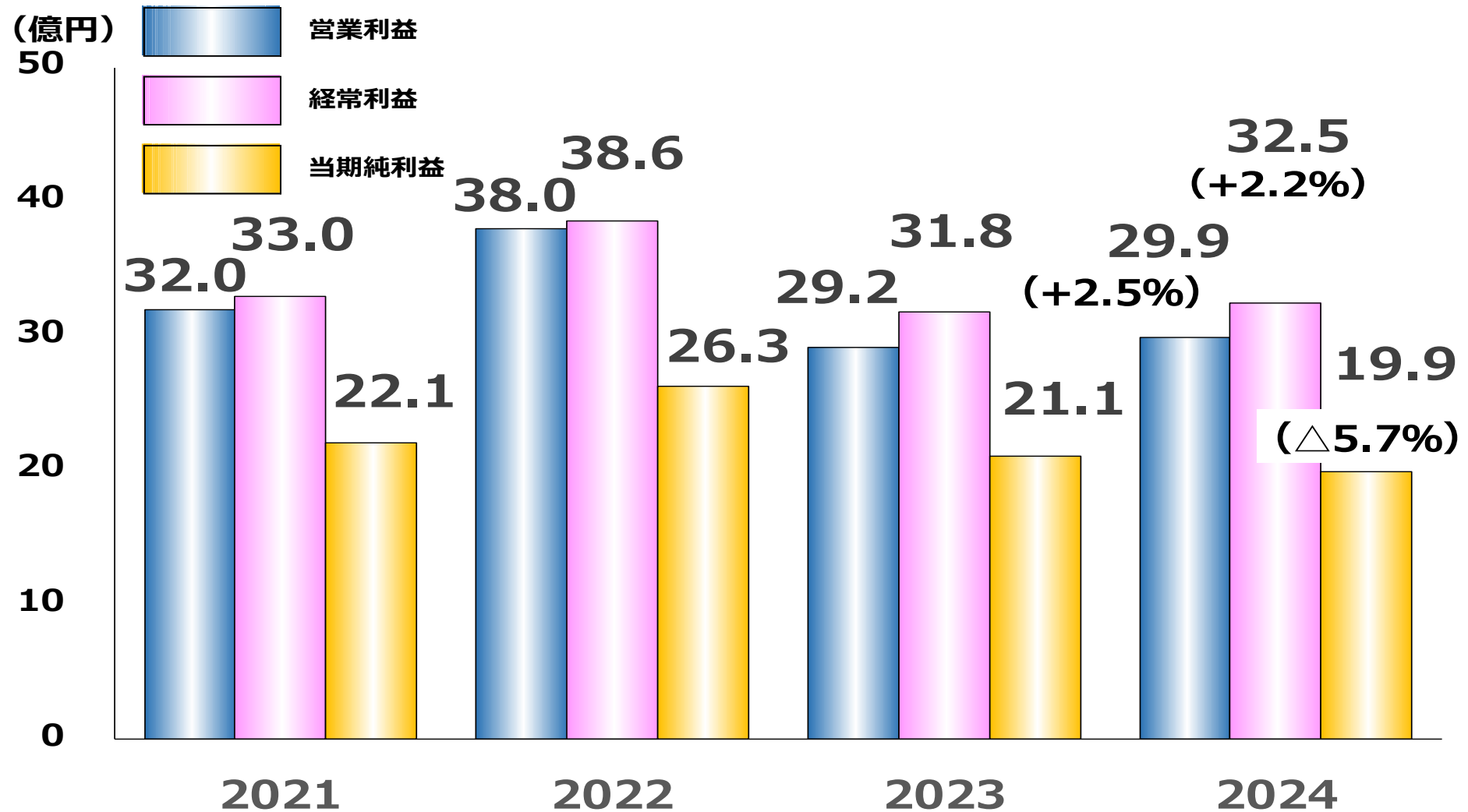
事業報告

03

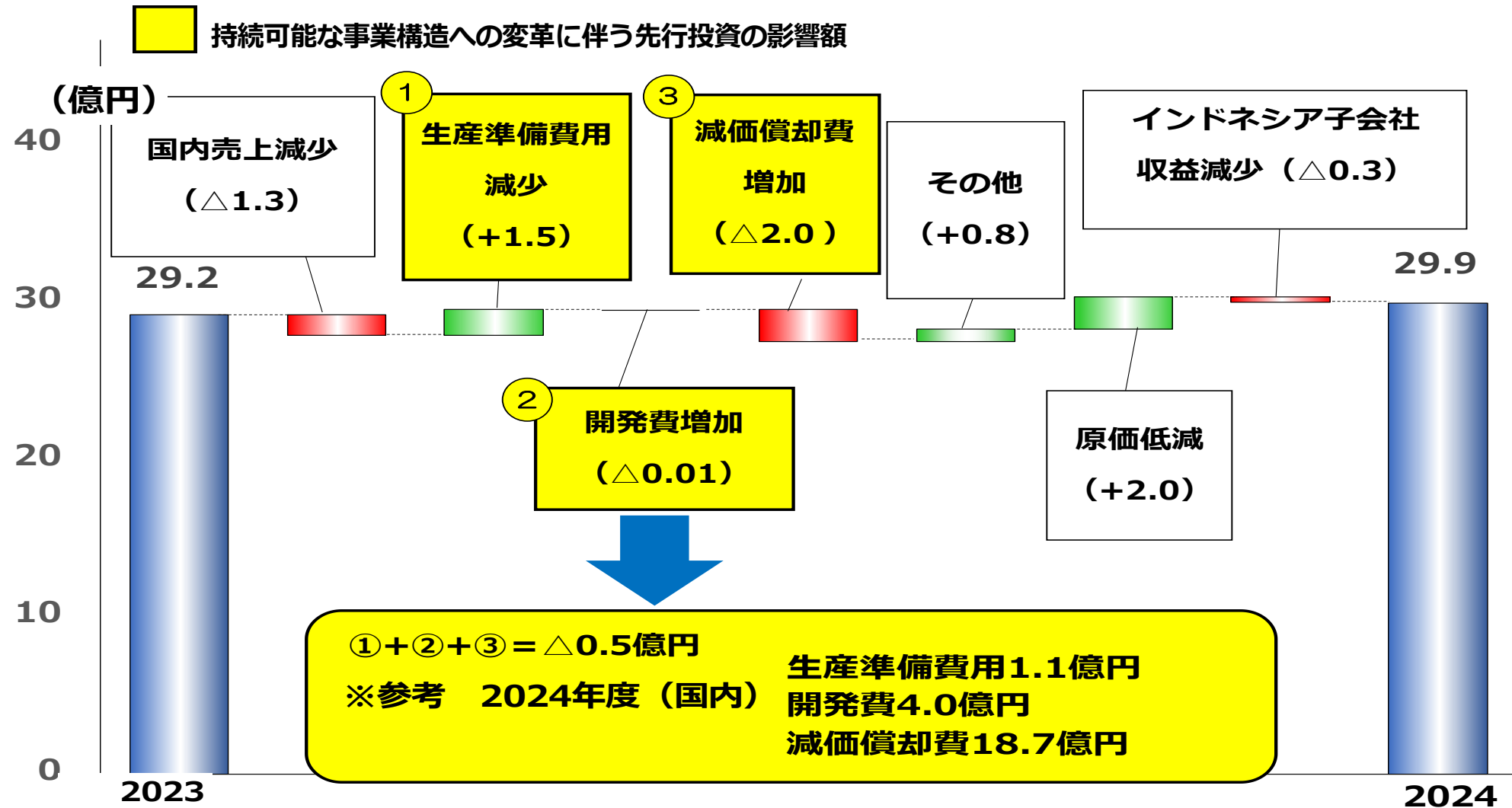
当社グループの現況（売上高）



当社グループの現況（利益）



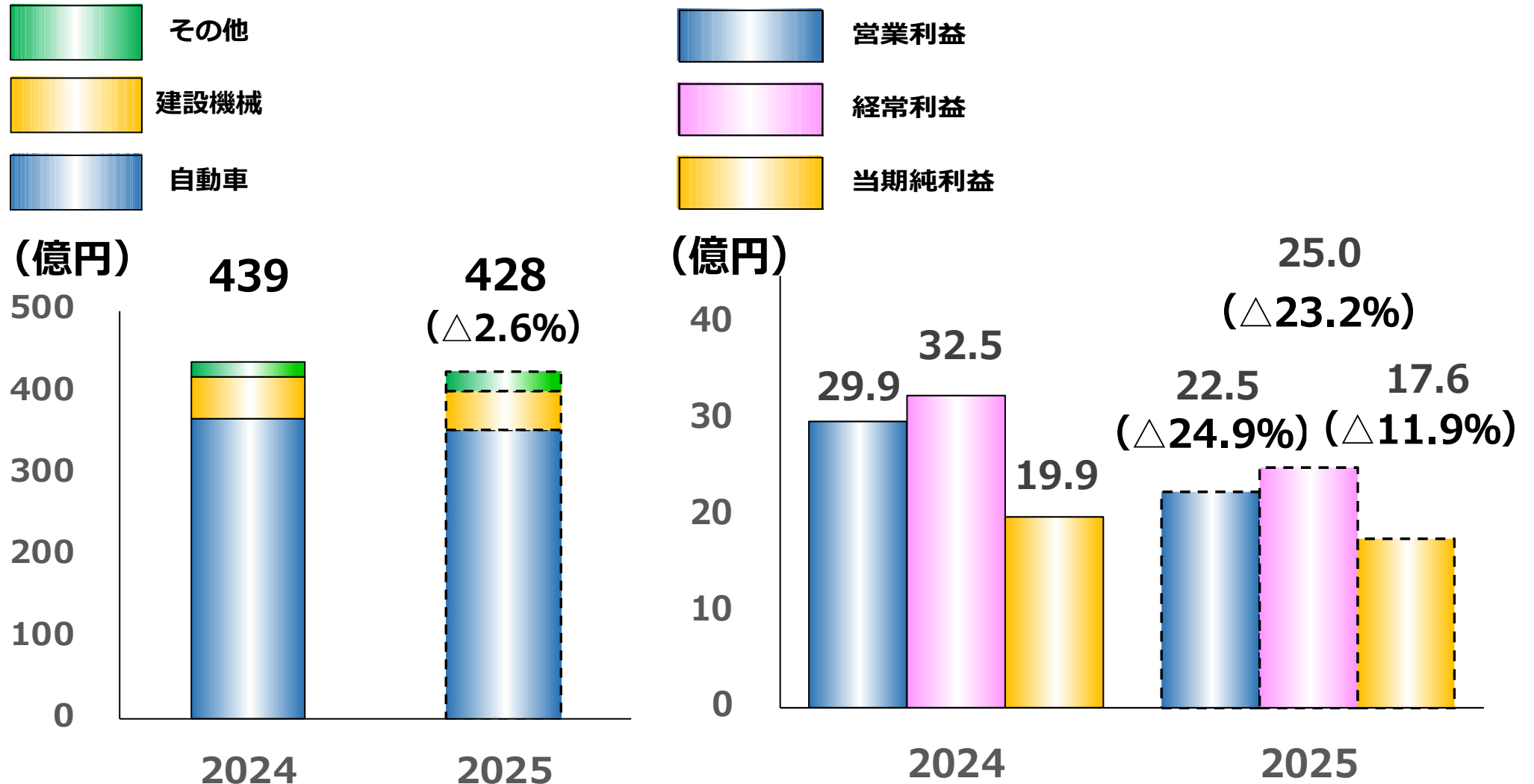
連結営業利益変動要因



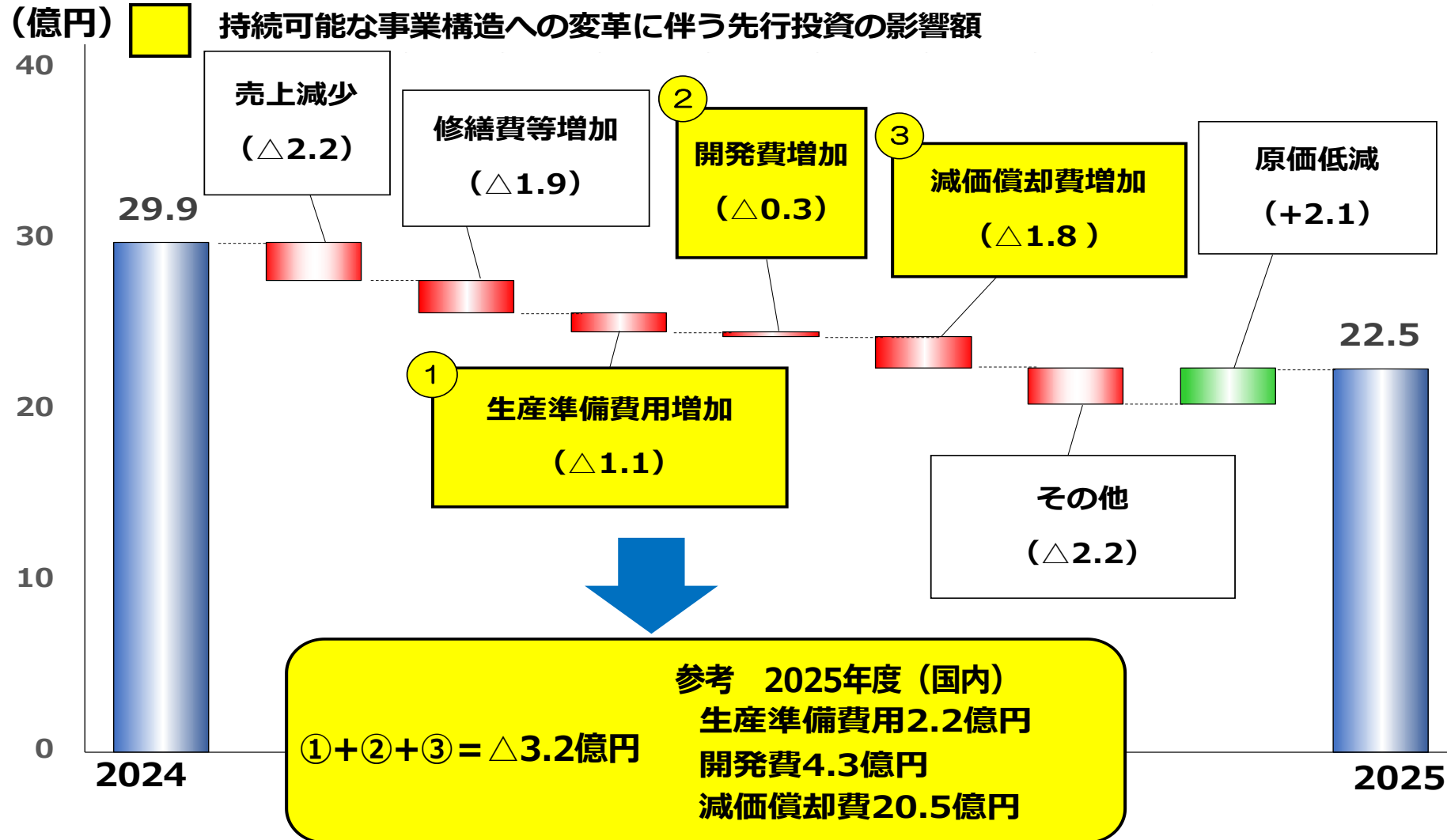
2025年度業績 予測について

04

連結売上高および利益見通し



連結営業利益変動要因



2030年ビジョン

～6年目の取り組みについて～

05

1. 外部環境予測
2. 持続的成長に向けた課題と取り組み
「原点回帰と変革」

1. 外部環境予測

外部環境予測



2030年にむけた課題

- ・世界的なカーボンニュートラルに向けた取組みは加速
⇒当社主力の自動車市場は、
BEVの成長鈍化もマルチパスウェイの脱炭素化へ
- ・コロナ禍後の過剰な景気対策の反動による、世界的な緩やかな景気後退の進行に加え、中国の成長鈍化、地政学リスク顕在化
- ・国内の超少子超高齢化の加速
⇒市場の縮小、生産年齢人口の減少が更に加速



持続的成長に向けての最重要課題の認識は変わらない

- ①事業の持続可能な構造への変革
- ②人材確保/定着化

⇒環境変化にあわせて2030年ビジョンの取組みを推進

ワクワクする会社になろう！

2. 持続的成長に向けた 課題と取り組み 「原点回帰と変革」



原点回帰

01



メタルアートウェイの浸透



02



国内既存事業の収益構造改革



03



海外事業のさらなる収益拡大



04



BCPの推進



05



コトづくりの推進



原点回帰



01



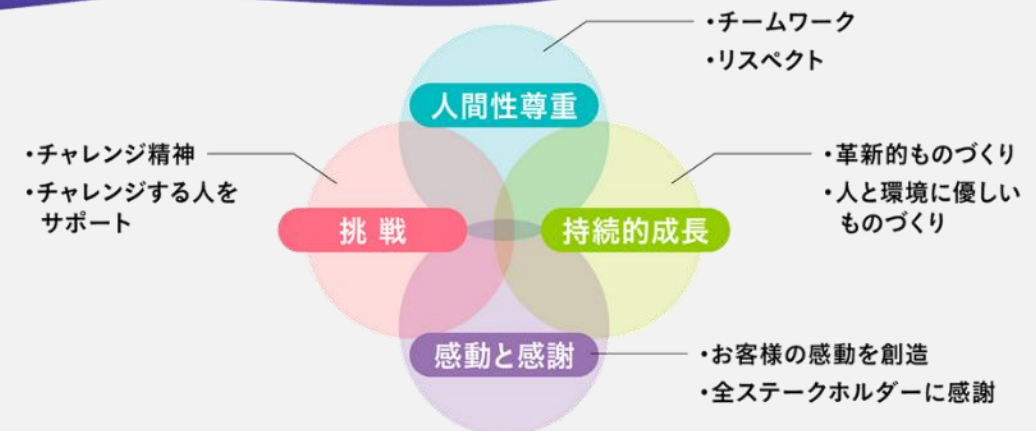
メタルアートウェイの浸透

ひとづくり・文化づくりの継続

社長が直接、全従業員に対して研修を実施

- ・組織を跨ぐ横串・少人数制・ディスカッション形式
- ・提案を積極的取り入れ（SNSづくり、評価方法見直し等）

メタルアートウェイ～私たちの大切な想い～



原点回帰



02



国内既存事業の収益構造改革

1年目
(2020年度)

2年目
(2021年度)

3年目
(2022年度)

4年目以降
(2023年度以降)

デジタル活用による
各職場の業務改革推進
(全員がデジタルツールを学ぶ)

省人化への投資
(FA推進、AI・IoT実装)

費用原単位の低減
(全員参加の競争力向上活動)

原点回帰



03

**METALART
ASTRA
INDONESIA**



海外事業のさらなる収益拡大

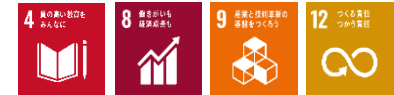
【全員参加の競争力向上活動】

- ・ 費用原単位低減活動の継続および強化
- ・ 工場DX推進によるものづくり改革
- ・ プロパー人材で運用できる会社を目指し人材育成を強化

【新規拡販活動強化】

- ・ 合併パートナーのアストラ・オート・パーツと協力したインドネシア市場に適したマーケティング活動の推進
- ・ ASEANの自動車電動化（2輪・4輪）を見据えたモータ事業の横展と建設機械向け大型部品市場参入を検討

原点回帰



04



地下水の飲料化システム

BCPの推進

【南海トラフ等の大規模地震への備え】

- ・ 人命最優先を基本に大規模地震に対する減災対策および早急な生産復旧と地域支援への備えを計画的に推進中（地域支援の取り組み）

「災害時における井戸水の使用に関する協定書」を
滋賀県草津市と締結

「災害時における一時避難所としての使用に関する協定」を
宮崎県門川町と締結

【サイバー攻撃への備え】

- ・ EDR導入等、セキュリティ強化の継続的取り組みを推進

原点回帰



05



滋賀レイクスとのコラボレーション企画

コトづくりの推進

【地域貢献】

- ・ 毎日16時半～従業員全員で工場内・会社周辺の清掃活動実施
- ・ リサイクル事業を通じた環境保全と就労支援活動のサポート
- ・ 滋賀県のプロバスケットチーム滋賀レイクスに協賛

⇒高校生100人無料招待イベント開催

- ・ びわこペーロン大会へ出場
- ・ 地元自治会イベントへの参加
- ・ 「国スポ・障スポ」への寄附

【地域との共生：環境負荷低減活動】

- ・ 老朽化設備廃棄、振動抑制対策工事（WIB工法）の実施



小学校へリサイクルBOXの寄贈

変革

01

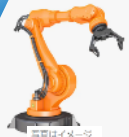


写真はイメージ

新たな事業への挑戦

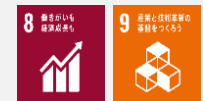


02



写真はイメージ

既存事業の新規拡販



03



カーボンニュートラルの推進



04



地域社会への貢献



変革



01



モータコア

モータ事業への参入

世界的な脱炭素の潮流/自動車業界の100年に1度の大変革期
による当社主力のエンジン・トランスミッション部品市場縮小
に備え、2018年3月に未来創造センターを立上げ新事業の創出に
向けたマーケティングと研究開発を開始
2020年度よりモータ事業にターゲットを絞り開発を推進中

変革



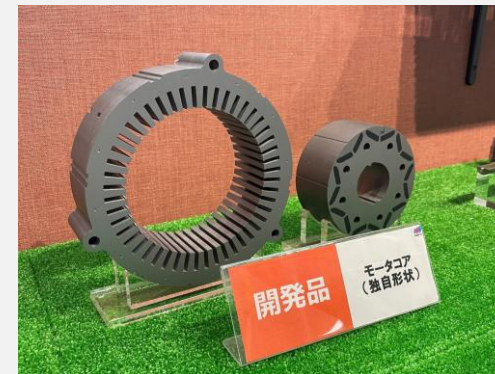
モータ事業の進捗状況【モータコア】



応力除去焼鈍炉
(水口モータコア工場)

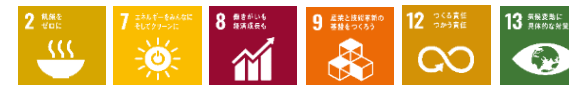
【モータコア】

モータの主要部品であるステータコア（固定子）とロータコア（回転子）を月2万セット生産する能力を備えた打抜積層プレスライン、応力歪除去焼鈍炉、磁石樹脂封止ラインを導入。加えて、特許出願中の独自技術・新工法で、回転バランスやエネルギー効率に優れた高性能コアの製造実現にむけた開発を推進中

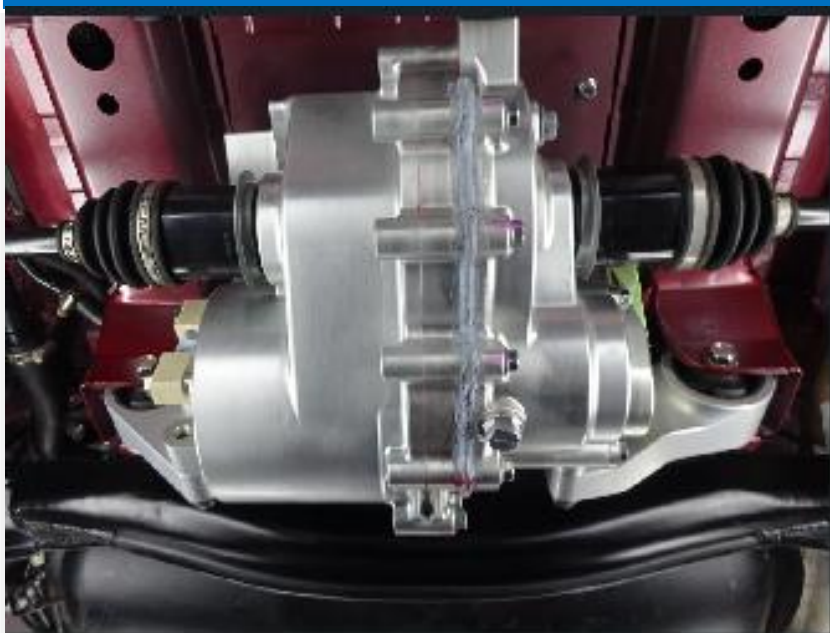


開発品
モータコア
(独自形状)

変革



モータ事業の進捗状況【モータドライブ】



4WDリア用e-アクスルユニット
(開発モータを組み込んだ電動駆動装置)

【モータドライブ】

独自開発した同期リラクタン্সモータを軸に、減速機と組み合わせた2in1ユニット (e-Axle) の提案活動を本格化。軽・小型車をはじめ、建機・農機・産業機械など多様な分野への展開を見据えたマーケティング活動を強化。インバータ開発も開始。

【事例】 開発モータ搭載車両による登坂路での走行テスト



メタルアートの原理試作車両
(開発モータ搭載車両)

- ・ 低 μ 路 (圧雪路・泥道)
 - ・ 勾配20%
- ⇒ 2WDでは登坂できない
傾斜での走行を確認

02



8 t ハンマーライン
(宮崎ひむか工場)

既存事業（鍛造、機械加工）の新規拡販

- ・「鍛造から機械加工一貫生産」の経験を活かした最適工法の提案力を強みに自動車以外の分野の新規拡販を強化

【事例】

- ・ 産業用ロボット部品を「機械加工完成品」で拡販を推進
馬場第2工場※を産業用ロボット部品向けに再編中
※現状：自動車のトランスミッション部品の機械加工工場
- ・ 宮崎ひむか工場に大型油圧ハンマー導入および機械加工工場建設。

「鍛造から機械加工一貫生産」へ



機械加工工場



スク류プレス
(本社工場)

既存事業（鍛造、機械加工）の新規拡販

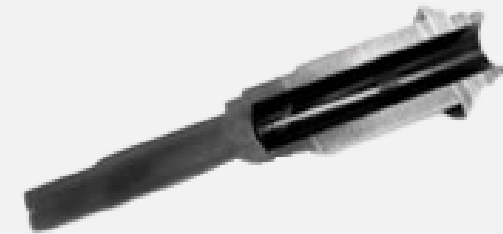
- ・ 長軸かつ深穴成形に最適なモータシャフト専用の温間鍛造プレスラインを導入

【スペック】

- ・ 生産能力：90,000個/月

【適用可能サイズ】

- ・ 全長：100mm～250mm
- ・ 製品径：φ40～60



- ・ 機械加工完成品でモータシャフト2品番の新規受注獲得済み
自動車メーカー/モータ生産メーカー各社に受注獲得に向けた販売活動を展開中
- ・ 機械加工領域の事業拡大に向け、水口町に新たに22,206㎡の土地を取得



03



カーボンニュートラルの推進

- ・ 2022年3月1日に「CN推進センター」を新設
グループ会社を含めた横串活動として
「CN推進プロジェクト」を立上げ取組を開始

- ・ 活動の概要および目標

【概要】

生産プロセスの脱炭素化、排熱利用、
脱炭素電力への置き換え（2022年度より関西電力と契約済）
太陽光パネルの設置による創電（2025年度中に計5か所に増加）

【目標】

2030年 2013年度比△46%、2050年カーボンニュートラル実現

変革



04



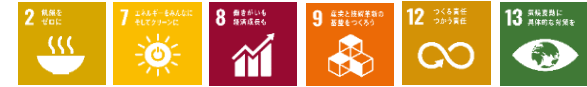
農業事業への参入

- ・ 滋賀県草津市への貢献とサステナビリティの課題のひとつである「継続的、安定的な雇用の確保」を目指す
- ・ 当社の培ってきた「ものづくり」の知見を活かせる農業事業への参入を決定
- ・ 地域住民の方に喜んでいただける果物を中心に新たなブランド価値を創造



メタルアート公式キャラクター

変革



3月4日に関西最大級のいちご農園「湖と苺」がオープン



滋賀県草津市の魅力向上とメタルアートのブランド価値向上・従業員エンゲージメント向上の両立を目指したCSVの取組み。地域と共に成長していける事業を目指して、従業員一同全力で取組み中

企業価値向上に向けた 課題と取り組み状況

06

- 1.株主還元・IR活動の充実に向けた取り組みについて
- 2.連結経営指標推移（2018年～2024年）
- 3.考察（2025年現在）
- 4.2021年～2025年の開発・投資計画
- 5.財務状況

（注1）2018年5株→1株併合、表示単位を現状にあわせています。

（注2）金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しています。

株主還元・IR活動の充実について

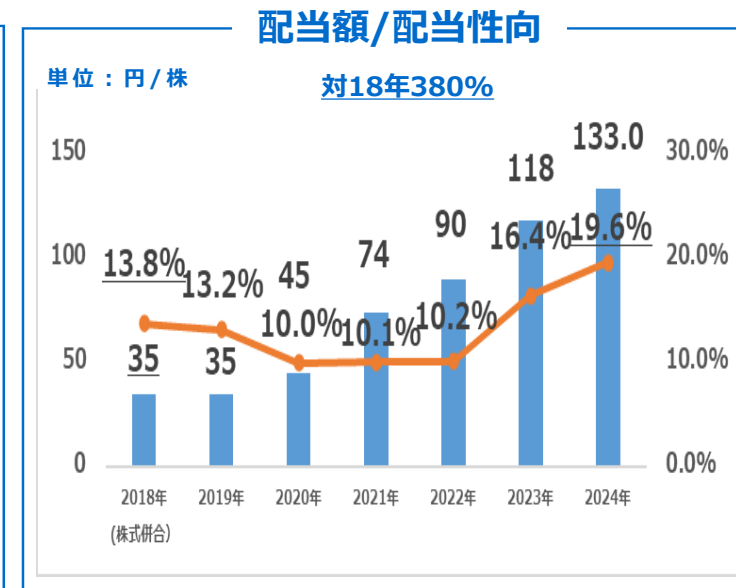
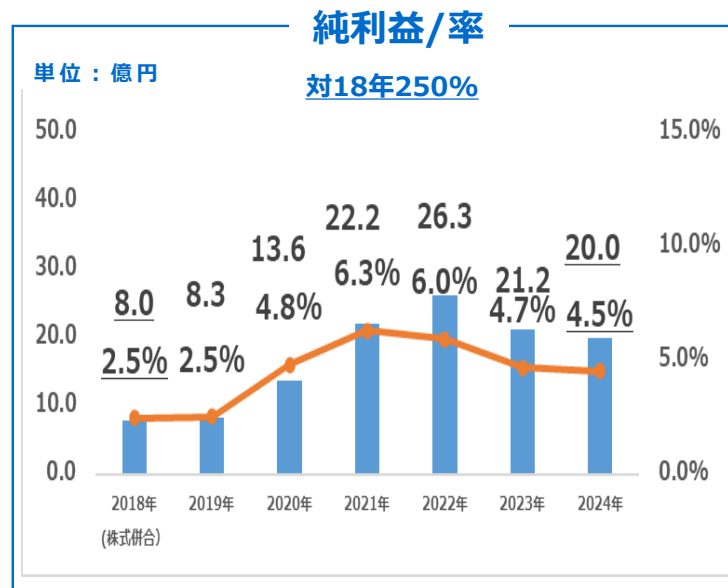
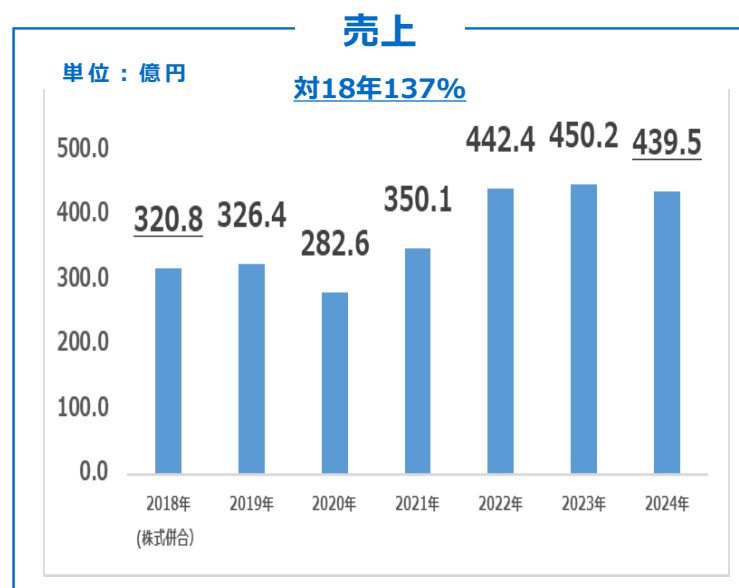


企業価値向上に向けた取り組みの一環としてIR活動の質と頻度を少しずつ高めてまいりました。

- ・株主還元について
2023年11月9日に配当方針の見直しを実施
持続可能な事業構造への変革の取り組みを最優先としながらも、
配当目標30%を意識して推進
- ・IR活動の充実に向けた3つの取り組みを継続
 - ①決算開示と同時に決算補足説明資料の開示
 - ②ホームページおよびメディアを通じた情報発信
 - ③IR担当を配置し、機関投資家からのIRインタビュー等の対応実施

今後もわかりやすさと透明性を軸に、双方向の信頼構築に努めてまいります。

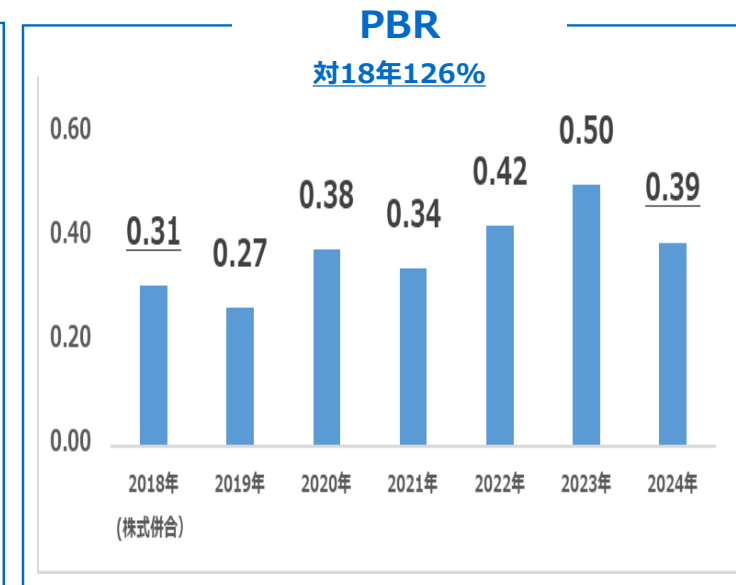
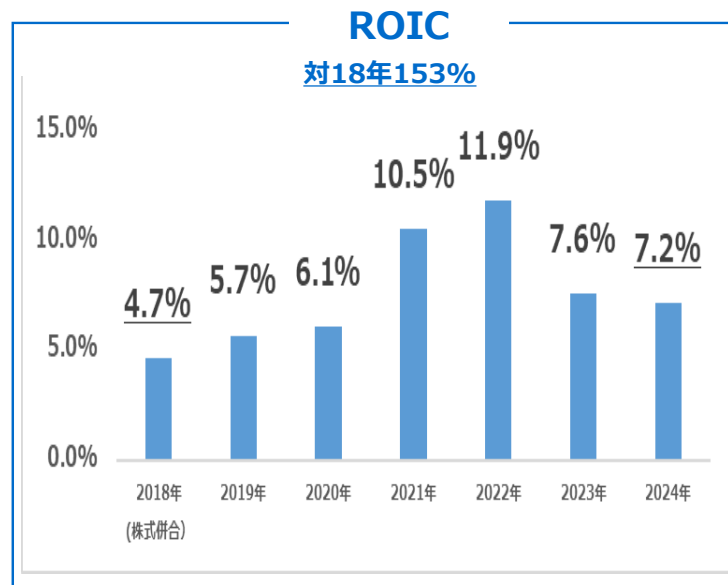
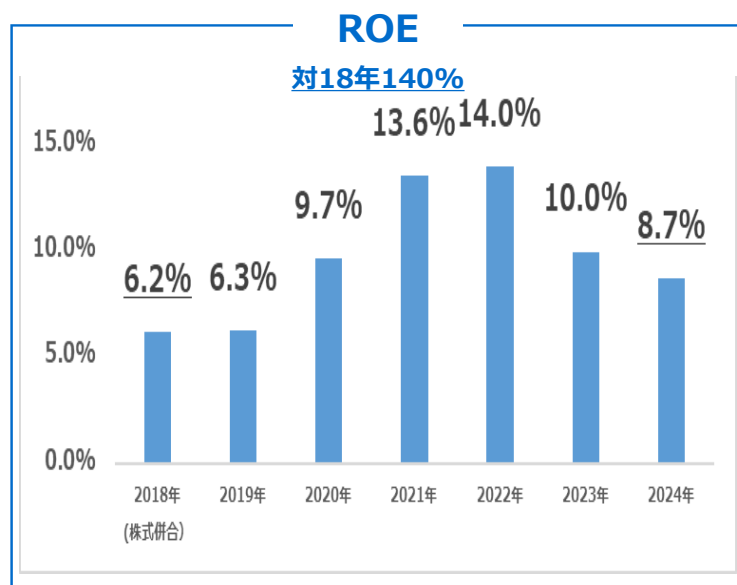
連結経営指標推移



2018年比で売上は137%、純利益は250%、配当額は380%と先行投資を行いながらも着実に成果を積み重ねてまいりました。

配当性向は依然として低い水準ではありますが、今後の持続的成長への開発・投資の資金負担とのバランスを見ながら、さらなる株主還元拡充を目指してまいります。

連結経営指標推移



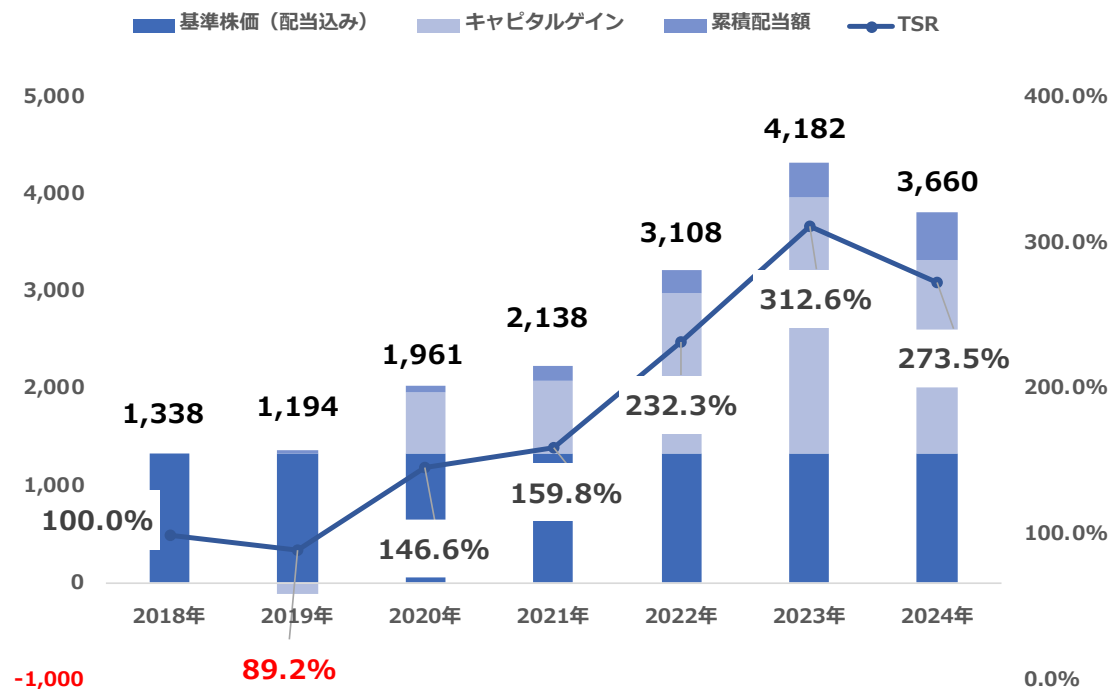
ROE・ROICは一定水準を維持しておりますが、事業構造の変革に伴う先行投資の影響により低下傾向にあります。PBRも低水準となっています。
中長期的には、先行投資の成果を確実に収益へと結び付け、資本効率のさらなる向上を目指してまいります。

考察（2025年現在）

企業価値向上の取組みに対する2025年時点の考察

単位：円/株

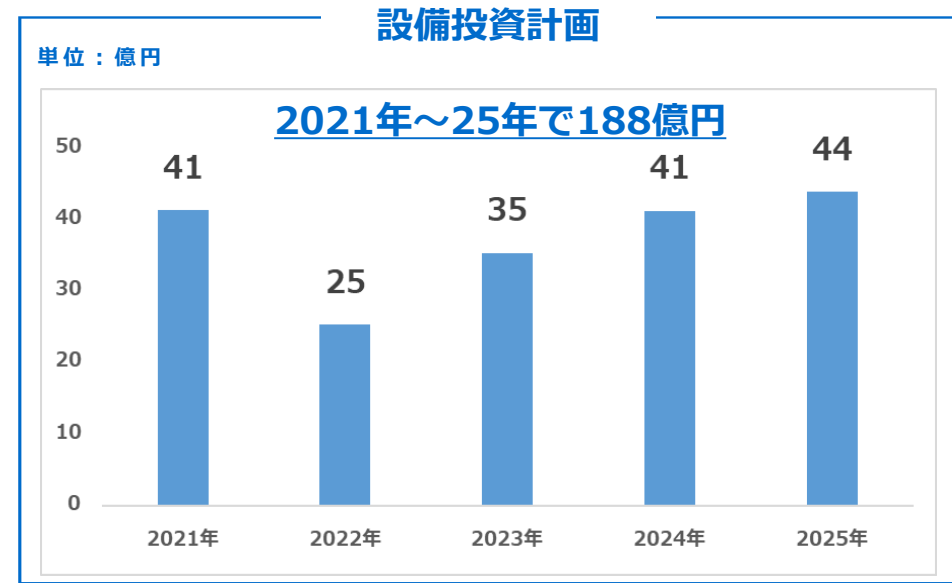
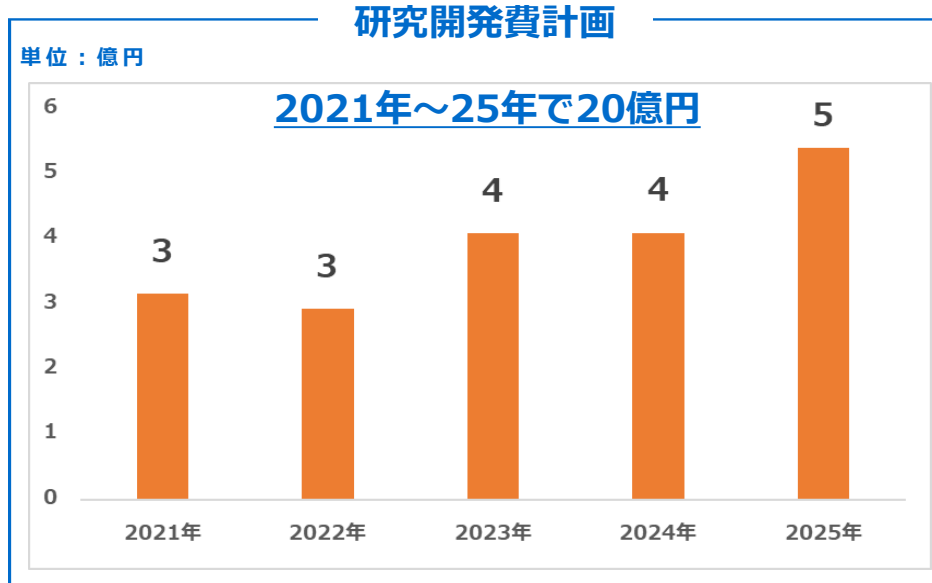
2018年度を基準としたTSR推移



TSRは先行投資負担もあり、
低下傾向にあります。

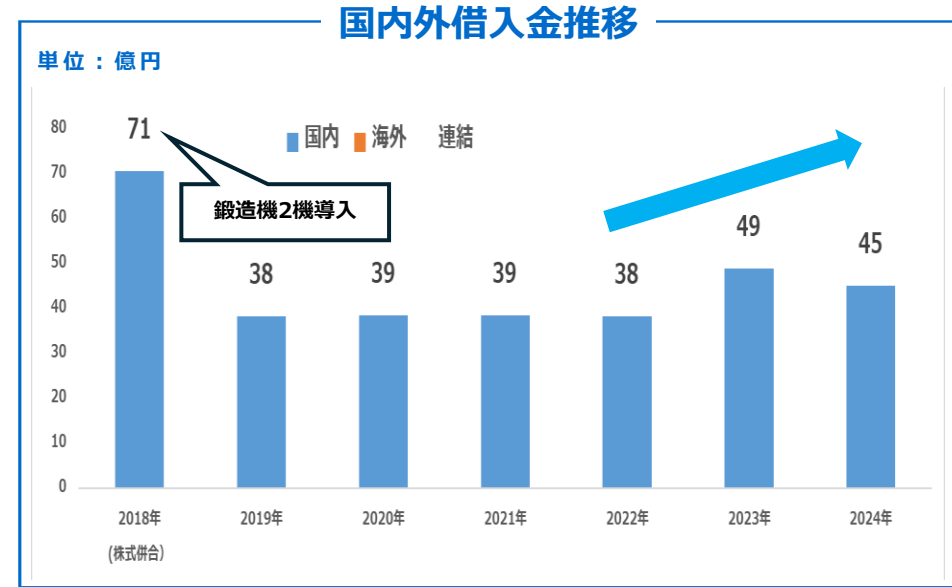
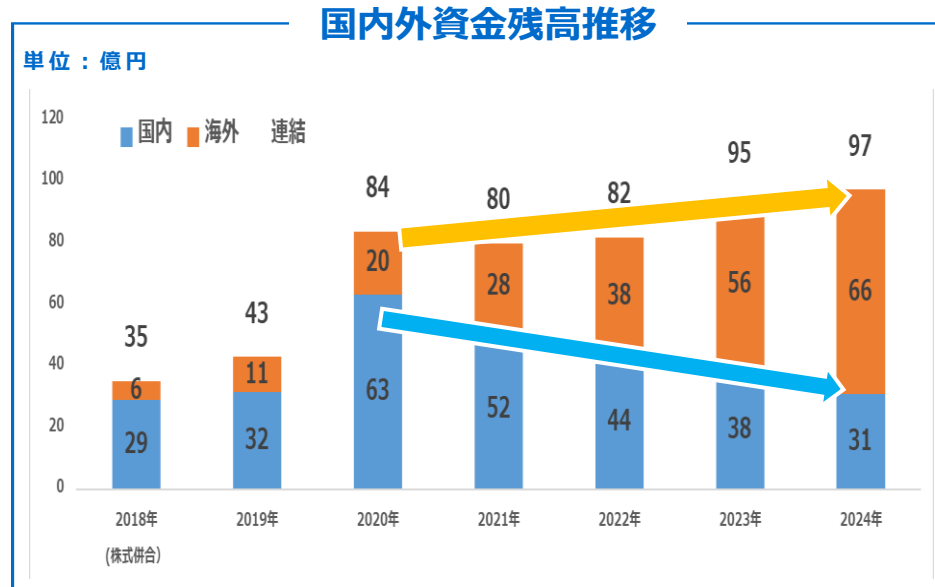
中長期的な視点で企業価値
を向上させ、株主の皆様
のご期待に応える経営をこれ
からも継続してまいります。

2021年～2025年の開発・投資計画



2021年～2025年にかけて研究開発費は20億円、設備投資は188億円と将来の競争力強化に向けて積極的に投資しております。
これらの投資は、事業構造の変革に伴う挑戦として継続してまいります。

財務状況



連結で見ると資金残高は十分な水準。但し、国内・海外で資金状態が異なる。
国内は事業構造変革に伴う開発・投資負担で借入金が増加。
海外は将来的な事業拡大にむけて、金利負担を考慮し資金準備を進めている。
(現地でのモータ事業投資に約75億円が必要と想定)

第94期 (2025年3月期) 連結計算書類

07

(注) 金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しています。

連結貸借対照表（要旨）

（2025年3月31日現在）

（億円）

科目		金額	対前年 増減額	科目		金額	対前年 増減額
流動資産		244.6	△ 11.5		流動負債	146.7	△ 20.4
	有形固定資産	187.5	13.9		固定負債	30.7	10.4
	無形固定資産	0.2	0.0		負債 計	177.4	△ 10.0
	投資有価証券	2.4	△ 0.3		株主資本	225.6	14.8
		その他	7.7		0.2	その他包括利益累計額	8.9
	投資その他の資産	10.1	0.0		非支配株主持分	30.5	1.8
固定資産	198.0	13.9	純資産計		265.1	12.3	
資産 合計		442.6	2.3	負債・純資産 合計		442.6	2.3

【1株当たりの当期純資産 8,083円80銭】

連結損益計算書（要旨）

項目	金額	対前期増減率
売上高	439億5千4百万円	△2.4%
営業利益	29億9千5百万円	2.5%
経常利益	32億5千3百万円	2.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	19億9千8百万円	△5.7%

【1株当たりの当期純利益 679円15銭】

議案の説明

08

議案の説明

決議事項

- 第1号議案 取締役5名選任の件
- 第2号議案 監査役1名選任の件
- 第3号議案 補欠監査役1名選任の件
- 第4号議案 退任取締役会に対し退職慰労金贈呈並びに
役員退職慰労金制度廃止に伴う打ち切り支給の件
- 第5号議案 取締役（社外取締役を除く）に対する譲渡制限付株式
の付与のための報酬決定の件

第1号議案

取締役5名選任の件 取締役候補者

※招集ご通知5頁から8頁をご覧ください



友岡 正明

[地位および担当]
代表取締役社長

[候補者属性]
再任



戸村 一弥

[地位および担当]
顧問

[候補者属性]
新任



福本 照久

[地位および担当]
取締役

[候補者属性]
再任



荻野 奈緒

[地位および担当]
取締役
京都大学大学院
法学研究科教授

[候補者属性]
再任
社外
独立



大石 悠人

[地位および担当]
公認会計士
税理士

[候補者属性]
新任
社外
独立

第2号議案

監査役1名選任の件 監査役候補者

※招集ご通知9頁をご覧ください



山川剛司

[地位および担当]
ダイハツ工業株式会社
経理部関連事業室長

[候補者属性]
新任
社外

第 3 号議案

補欠監査役 1 名選任の件 補欠監査役候補者

※招集ご通知10頁をご覧ください



有村隆

[地位および担当]
弁護士

[候補者属性]
再任

第4号議案

退任取締役に対し退職慰労金贈呈並びに 役員退職慰労金制度廃止に伴う打ち切り支給の件

※招集ご通知11頁をご覧ください

【退任取締役の略歴】



武田正臣

[略歴]

2021年6月 常務取締役（現任）

【打ち切り支給予定の取締役および監査役の略歴】



友岡正明

[略歴]

2017年6月 取締役
2019年6月 代表取締役社長（現任）



福本照久

[略歴]

2018年6月 取締役（現任）



溝井辰雄

[略歴]

2021年6月 監査役（現任）

第5号議案

取締役（社外取締役を除く）に対する譲渡制限付株式の 付与のための報酬決定の件

※招集ご通知12頁から15頁をご覧ください

【目的】

当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与える
とともに、株主の皆様との一層の価値共有を進める

【譲渡制限付株式報酬制度の内容】

年額50百万円以内、普通株式総数20,000株以内

質疑応答

09

議案決議

10

議案決議

決議事項

- 第1号議案 取締役5名選任の件
- 第2号議案 監査役1名選任の件
- 第3号議案 補欠監査役1名選任の件
- 第4号議案 退任取締役会に対し退職慰労金贈呈並びに
役員退職慰労金制度廃止に伴う打ち切り支給の件
- 第5号議案 取締役（社外取締役を除く）に対する譲渡制限付株式
の付与のための報酬決定の件

第1号議案

取締役5名選任の件 取締役候補者

※招集ご通知5頁から8頁をご覧ください



友岡 正明

[地位および担当]
代表取締役社長

[候補者属性]
再任



戸村 一弥

[地位および担当]
顧問

[候補者属性]
新任



福本 照久

[地位および担当]
取締役

[候補者属性]
再任



荻野 奈緒

[地位および担当]
取締役
京都大学大学院
法学研究科教授

[候補者属性]
再任
社外
独立



大石 悠人

[地位および担当]
公認会計士
税理士

[候補者属性]
新任
社外
独立

第2号議案

監査役1名選任の件 監査役候補者

※招集ご通知9頁をご覧ください



山川 剛司

[地位および担当]
ダイハツ工業株式会社
経理部関連事業室長

[候補者属性]
新任
社外

第 3 号議案

補欠監査役 1 名選任の件 補欠監査役候補者

※招集ご通知10頁をご覧ください



有村隆

[地位および担当]
弁護士

[候補者属性]
再任

第4号議案

退任取締役に対し退職慰労金贈呈並びに 役員退職慰労金制度廃止に伴う打ち切り支給の件

※招集ご通知11頁をご覧ください

【退任取締役の略歴】



武田正臣

[略歴]

2021年6月 常務取締役（現任）

【打ち切り支給予定の取締役および監査役の略歴】



友岡正明

[略歴]

2017年6月 取締役
2019年6月 代表取締役社長（現任）



福本照久

[略歴]

2018年6月 取締役（現任）



溝井辰雄

[略歴]

2021年6月 監査役（現任）

第5号議案

取締役（社外取締役を除く）に対する譲渡制限付株式の 付与のための報酬決定の件

※招集ご通知12頁から15頁をご覧ください

【目的】

当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与える
とともに、株主の皆様との一層の価値共有を進める

【譲渡制限付株式報酬制度の内容】

年額50百万円以内、普通株式総数20,000株以内

閉会

本日はご出席、
誠にありがとうございました



ワクワクする会社になろう！



会社概要

会社名	株式会社メタルアート
代表取締役社長	友岡 正明
資本金	21億4,348百万円
設立年月日	1943年8月6日
従業員数	1,068名（2025年3月末時点）

役員（2025年6月26日現在）

代表取締役社長	友岡 正明
取締役	戸村 一弥
取締役	福本 照久
取締役（社外）	荻野 奈緒/大石 悠人
常勤監査役	溝井 辰雄
監査役（社外）	山川 剛司/村松 千佐子

メタルアート公式キャラクター



株式会社メタルアート

〒525-0059 滋賀県草津市野路3丁目2番18号

☎ 077-563-2111 ✉ contact@metalart.co.jp

<https://www.metalart.co.jp>